

# 数学

## 1 計算ミスも今の「実力」

計算ミスをした時に「うっかりしてた！」と思うことは多いでしょう。でも、ミスも今のあなたの「実力」。そこで何も対策をしなければ、また同じミスをしてしまうかも。もしかしたら、ミスをしやすい勉強のやり方をしているのかもしれない。

### ● 途中式や筆算、書いている？

「わかっているからいいや」と<sup>りっしき</sup>立式や筆算を飛ばしていたら要注意！ 頭の中で考えるより、紙に書いて目で見ただけのほうがまちがえにくい。

### ● 解き直し、している？

まちがえたのには理由がある！ まちがえた問題を解き直せば、くり下がりが苦手、分数の計算でつまづく、など自分の弱点がわかる。それをなくすことがミスを減らす第一歩！

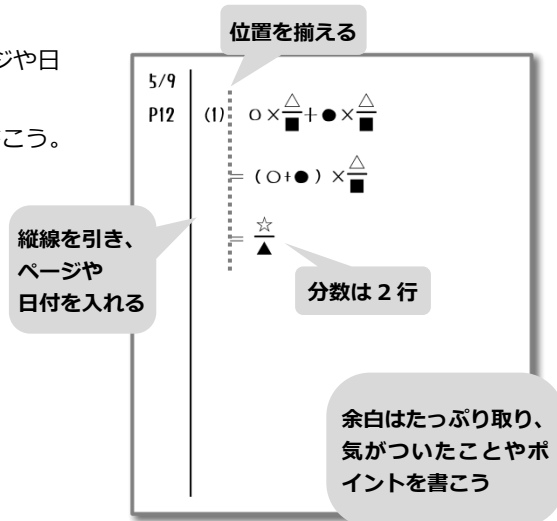
### ● その数字、他の人も読める？

「書いた時は読めたけど、あとで見たら読めなかった」という字で書いてはダメ。ていねいでなくても良いので、他の人にも読めるくらいの数字を書く、と心がけよう。

## 2 ノートはゆったり使おう

ノートは余白をたっぷりとって、ぜいたくに使いましょう。あとで気がついたことを書き込んだり、まちがえた問題を解き直したりするスペースが必要になるからです。黒板をきれいに写すより、答えがでるまでの過程を理解して、ポイントをメモしましょう。

- ・ノートの左端から1～2行のところに縦線を引き、ページや日付を入れる。
- ・書き出しや「＝」の位置をそろえ、分数は2行使って書こう。
- ・式が長くなったら、「＝」で改行すると見やすく書ける。



## 3 大切なのは「解き方」

数学には、公式を知らなければ全く解けない問題もあります。しばらく考えて、解き方がわからない時は先に答えを見てしまいましょう。数学で大切なのは「答え」より「解き方」。なぜその答えになるのかを考えることが大切です。まず解説を読みながら解き、次は自力で解き、しっかり自分のものにできているか確認しましょう。